岩盤ボーリング柱状図

調査名	一般県道　弁財天加計線　道路改良事業に伴う地質調査・設計業務委託
事業・工事名	
調査目的及び調査対象	道路　その他

ボーリング名	No.1	調査位置	安芸太田町土居	北緯	34°34’26.7110″
発注機関	広島県西部建設事務所　安芸太田支所	調査期間	令和元年10月15日～ 令和元年10月17日	東経	132°14’25.3912″
調査業者名	復建調査設計株式会社 電話 082-506-1833	主任技師	松木　宏彰 地質調査技士 登録番号：	現場代理人	松木　宏彰 地質調査技士 登録番号：
コア鑑定者	猪俣　陽平 地質調査技士 登録番号：	ボーリング責任者	和名谷　直樹 地質調査技士 登録番号：第18090号		
孔口標高	265.42m	角度	180° 上 / 下 0° 90°	方向	北 0° 270 西 90° 東 180° 南
総削孔長	9.00m	地盤勾配	水平 0° 鉛直 90°		
使用機種	試錐機	東邦地下工機D1-B48型			
	エンジン	ヤンマーディーゼルNFD-12	ポンプ	東邦地下工機BG-3C	

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	工学的地質区分名（模様）	工学的地質区分名	色調	風化の程度	変質の程度	硬軟	コア形状	割れ目の状態	岩級区分	コア採取率 (%) / 最大コア長 cm / RQD [%]
1	263.62	1.80	SF	砂質土	暗灰～暗灰褐							
2–3	261.52	3.90	SF-M	シルト混り砂質土	暗灰褐～灰褐							
4	260.92	4.50	GS-M	シルト混り砂礫	灰褐							
5	260.12	5.30	GS-B	玉石混り砂礫	青灰～淡灰褐							
6	259.32	6.10	GS	砂礫	青灰～灰褐							
	258.82	6.60	GS-B	玉石混り砂礫								
7	258.12	7.30	GS	砂礫								
8–9	256.42	9.00	GS-B	玉石混り砂礫	灰褐							

記事

GL-1.80mまでは、砂質土。
GL-0.00～1.50mまでは、細砂～中砂を主体とし、GL-1.50m以深は粗砂を主体とする。
植物根を含む。

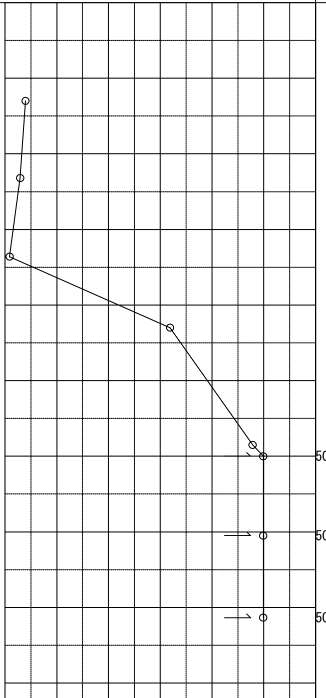
GL-3.90mまでは、シルト混じり砂質土。
最大φ=50mm程度の礫を含む。
GL-2.70～3.00mでは、局所的にシルト分が少量な箇所を含む。

最大でφ=50mm程度の亜円礫～角礫を含む。砂は細砂～粗砂を主体とする。

GL-9.00mまでは、玉石混じり砂礫及び砂礫。
最大で、φ=450mmの玉石を含む。玉石は新鮮な岩で硬質である。
最大で、φ=60mmの礫を含む。礫は角礫や、円礫を多く含む。
マトリックス部分は粗砂を主体とする。

孔内水位／測定月日：10/16 4.15、10/17 7.60

標準貫入試験



N値	深度	打撃ごとの貫入量	50回の貫入量	自沈時の貫入量	原位置試験	室内試験
4	1.15～1.45	4/300				1.15～1.45 物理的
3	2.15～2.49	3/340				
1	3.15～3.57	1/420				3.15～3.57 物理的
32	4.15～4.45	32/300				4.15～4.45 物理的
48 / 50以上	5.70～6.00	48/300 貫入不能				
50以上	7.00～7.10	50/100	100			
50以上	8.00～8.27	50/270	270			

削孔状況

削孔月日	削孔速度 (cm/h)	孔径・孔壁保護	コアチューブ・ビット	給圧 (MPa)	回転数 (rpm)	送水圧 (MPa)	孔内送水量 (L/min)	排水量 (L/min)
	1200	120	S／打込み	0	0	0	W1/0	0
			S/打込み					
10/15	90	86	HW／DB	0	150	0	W3/6	0
	120			1	200	0	W3/6	4
10/16						0	W3/6	2
10/17	90	66	HW/DB	0	200	0	W3/6	0